

# 製本のススメ

Vol. 196

そろそろ年末に向けて気ぜわしくなってきましたね。大掃除のスケジュールもお天気をみながら進めていかななくてはなりません。お父さんは頼れる所を見せられるチャンスですね。

今回は「**できません**」のお話です

どんな加工会社も最初から出来ませんとは言わないはずですが、電話等で話を聞いて「それはできません」と言われますね。出来ない理由は様々ありますが加工会社のできない理由 No1 は **やはり短納期**です。加工に必要な工期が見込めない場合には、やはりお断りせざるを得ません。急に言われても対応が難しいので、納期にゆとりがない場合には、事前に加工会社へ相談をしておくことで何らかの方法が有るかもしれません。次に**取り扱わない加工**(専門外の加工)そして一番問題なのが**ルールを逸脱した刷り本の加工**です。この場合は既に印刷物が入荷して初めて出来ないという事が判りますので、**事態は深刻**です。ルールという点で極端な例としては「上製本の紙目」です。**これを間違えると加工する製本会社は皆無**です。印刷をする前から既に間違えているわけです。

弊社には時々 個人でコピーした印刷物の加工がやってきます、この際は十分に納得していただいてから、上製本にさせて頂いています(個人様なので特例です)

さて各加工会社の設備によっても変わりますが、加工可能なサイズも各社それぞれに違いが有ります、**基本的にはB6～A4縦の仕上がり**までです。それを逸脱する場合には加工会社へ確認をしておかないと「できません」と言われてしまいます。

「**背丁・背票**」も冊子づくりの基本ルールです。つまりこの基本ルールさえ守られていれば、大抵の事は何とかできます。ドブ幅・印刷面付 加工仕様等 本が出来上がるまでには沢山の決まり事が多く大変かと思いますが 是非とも このルールを理解し不明点は加工会社に確認を取ってください

もう一つ 見積りと違う場合には「(この金額では)できません」が有ります。当然ですがこの場合には双方で話し合ってください。



## Tea break

子供のころは毎日ワクワクしていたのに、大人になってくると毎日愚痴しか出てこない。こんな人居ますね。ワクワクするという感情は期待感が作るものです。仕事でも仕事以外でもよいので自分が昨日より少しだけレベルアップできるものを探してみてください。お母さんが毎日子育てを頑張れるのは、日々進歩するわが子をみられるワクワクが有るからですね。

弊社 HP は <http://www.isekiseihon.com>

facebook は 「**井関製本の日々**」

by (株) 井関製本